

第4回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会 概要

日 時：平成24年7月30日（月） 14時00分～16時30分

場 所：鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室

出席者：【委員】宮廻委員、北崎委員、多々良委員、林川委員、江良委員、
堀之内委員、白男川委員、内村委員、春山委員、高山委員
(計10名)

※委員長が必要と認める委員以外の者の出席（砂田氏）1名

【事務局】古木副市長、建設局長、都市計画部長、
市街地まちづくり推進課長、
市街地まちづくり推進課主幹、同課職員3名

内 容：

1 開会

2 あいさつ

古木副市長よりあいさつ

3 検討委員会委員長及び副委員長の選出

北崎委員を委員長、宮廻委員を副委員長として選出

4 議事

(1) 事務局説明

- ・これまでの経過及び今後の進め方について

(2) 協議

- ①鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）について
- ②鹿児島駅周辺土地利用の基本的な考え方に基づく、
導入機能のイメージ（案）の検討について
- ③その他

(主な意見等)

- ・「市・にぎわい」ゾーンにおける郷土伝統芸能の機能については「文化薫る地域の魅力づくりプラン」に関わるものであると思うが、伝統芸能を含めて文化面を情報発信する場所として考えられないか。
- ・郷土伝統芸能については、観光という観点でそれが目的となりえるかは難しい問題があるが、やらなければ見てもらえる機会が少ないということだと思う。
- ・イベント等については、継続的に運営してコーディネート、企画する人の力が大きいと思うので、熱意を持って運営にあたる人の確保が大事である。
- ・磯地区の世界文化遺産登録の関係など、これから見込まれる影響を与えるような要素については記載してほしい。

- ・導入機能を色々と入れてしまうと管理運営が複雑になるので、重点的に整備を行い、その後のニーズに応じてフレキシブルに対応していくことも考えてもよいのではないか。
- ・整備にあたっては各導入機能を総合的にみていくような取組が必要ではないか。
- ・県外の方から鹿児島駅から見た桜島は非常に良いと言われるので展望デッキなど計画にあたっては桜島への眺望に配慮したほうがよい。
- ・インターネットの利用については、民間の飲食店でも対応できる時代なので不要と思われる。
- ・今回の整備で地元に対しては何らかの影響が出ることは考えられるが、鹿児島駅周辺が衰退している中で大規模空閑地の土地利用が進むことにより人の流れができれば、来街者の波及効果があると思う。

5 現地視察

浜町1番5の現地の状況を確認

以上